

家屋の解体

(写真)出典:国土交通省ホームページ



解体工事に向けた注意点

相続の整理

早めの準備を!

不動産の名義が亡くなった方のままとまっている場合、速やかに相続人で話し合って意見をまとめます。売却するには、相続登記が必要です。

現地の確認

自分の目で!

建物や敷地の塀や樹木の状態が悪くないか確認し、工事着手に時間がかかる場合は、最低限の手入れをしてください。工事完了後の状況も確認しましょう。

許可の確認

必ず解体許可業者へ!

見積り前に、解体工事の許可を持っているかどうか確認しましょう。金額によらず必要です。(『建設業の許可(土木/建築/解体)』または『解体業の登録(工事場所の都道府県)』)

※リスト掲載の事業者は、許可の確認済

見積書の確認

金額だけじゃない!

依頼した内容が見積書に反映されているかを確認し、分からない場合は、素直に聞いてみましょう。敷地や前面道路の状況などにより、解体費用が高くなるケースもあります。

契約は書面

口約束ではダメ!

解体工事は、契約事項を書面で交付するよう定められています。工事の概要や費用、工事期間、支払い方法、時期などを再確認しましょう。

家財の整理

解体工事とは別です!

家財道具(一般廃棄物)の処分は、工事着手前には済ませておく必要があります。ご自身でできない場合、一般廃棄物の運搬許可(解体工事の許可とは別)を持つ業者へご相談ください。

久留米市 粗大ごみ

検索

※一般廃棄物収集運搬業許可業者(家庭系)名簿

跡地を売却する場合!

不動産事業者
への相談!

跡地売却の意向がある場合、まずは不動産事業者へ相談しましょう。物件の状態によっては建物付き土地で売却(購入者が解体)するなど、手続きを簡素化できることがあります。